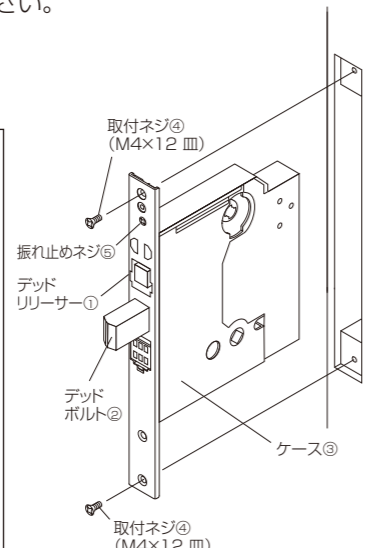
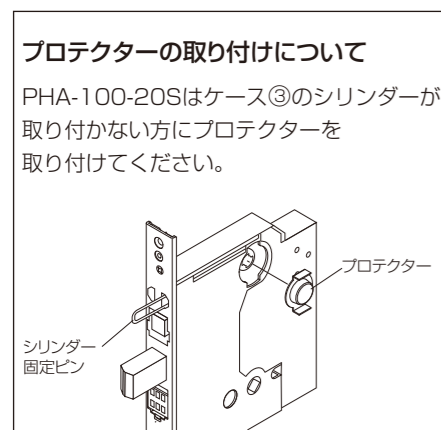


## 1 扉・枠への切カキ

扉と枠に必要な切カキをしてください。※裏面切りカキ図参照

## 2 ケースの取り付け

- 1) デッドリリーサー①を指で軽く押し、デッドボルト②を突出させてください。
- 2) ケース③を取付ネジ④でゆるく締め付けてください。
- 3) ケース前面の振れ止めネジ⑤を右方向に回し、ケースの振れを止めてください。
- 4) その後、取付ネジ④を強く締めてください。

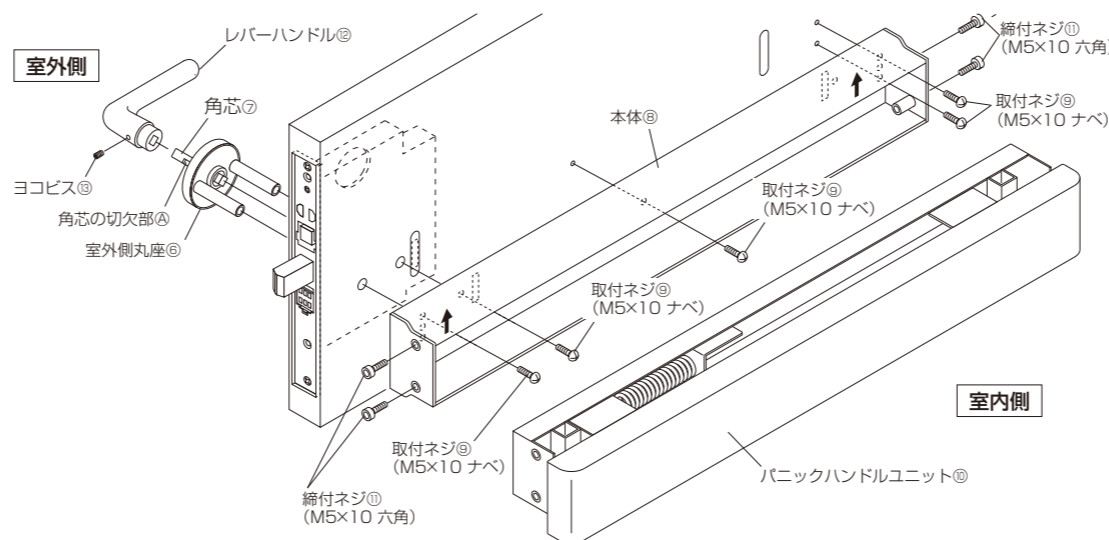


**注意**

- ・デッドリリーサー①には強力な磁石が使用されていますので切り粉等の異物が付着しないようご注意ください。
- ・異物が付着すると、錠が正常に動作しない恐れがあります。
- ・ケースが扉の厚さ方向に対して中心についていない場合は、振れ止めネジを締めるとケースが振れてしまい、作動を妨げる原因となるため、振れ止めネジを締めないでください。

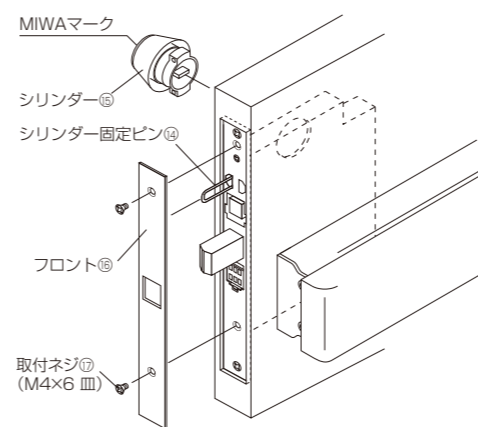
## 3 レバーハンドルとパニックハンドルの取り付け

- 1) 室外側丸座⑥の角芯⑦の切欠部⑧を戸先側に向けて扉へ差し込みます。室内側から本体⑨の刻印「↑」を上側にし、取付ネジ⑩(5本)で固定してください。
- 2) パニックハンドルユニット⑪を本体⑨に取り付け、締付ネジ⑫(4本)で固定してください。レバーハンドル⑬を室外側丸座⑥に取り付け、ヨコビス⑭で固定してください。  
※取付ネジ締め付けは、しっかり均等に行なってください。  
※締付ネジ⑫は付属の六角レンチで締め付けてください。  
※取り付け後パニックハンドルを操作し、ゆっくり戻した場合でも元の位置に戻るか確認してください。戻らない場合は、本体やパニックハンドルユニットの位置を調整してください。



## 4 シリンダーの取り付け

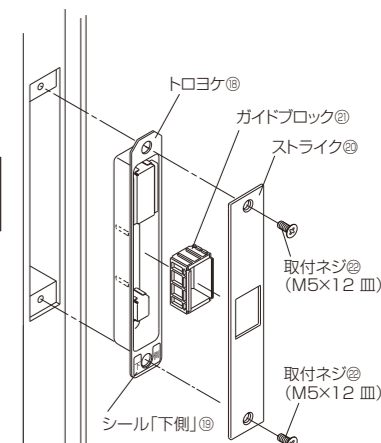
- 1) シリンダー固定ピン⑮を引き出し、シリンダー⑯のMIWAマークを上向きにしてケースに挿入し、シリンダー固定ピン⑮を押し込んで装着してください。
- 2) フロント⑰を取付ネジ⑱で取り付けてください。



## 5 ストライクの取り付け

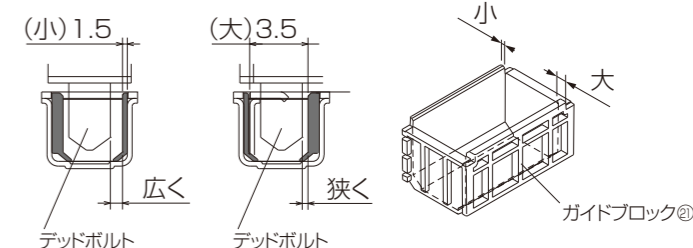
トロヨケ⑲はシール「下側」⑳を下側にし、ストライク㉑は扉の勝手に合わせます。ストライクにガイドブロック㉒を差し込んでから、ストライクとトロヨケを同時に取付ネジ㉓で取り付けてください。

**注意** トロヨケの上下が逆に取り付けられていると正常に動作しません。



### ・ケース(のデッドボルト)とのガタ調整について

ガイドブロックの上下を変更することで、扉(ケースのデッドボルト)と枠(ストライクのガイドブロック)のガタを調整できます。  
①はじめにガイドブロック㉒の狭い側を扉の開く側にして取り付けてください。  
②扉(ケースのデッドボルト)と枠(ストライクのガイドブロック)のガタが大きい場合は、ガイドブロックの上下を変更することで、2mm小さくすることができます。

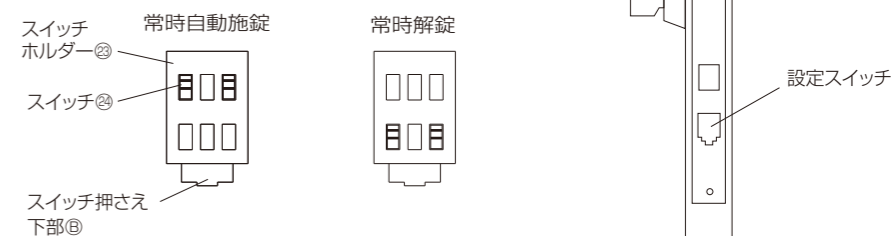


## 6 動作確認

最後にシリンダー、レバーハンドル、パニックハンドル、デッドボルトが正しく動作するかご確認ください。  
・必要に応じて添付のステッカーをご使用ください。

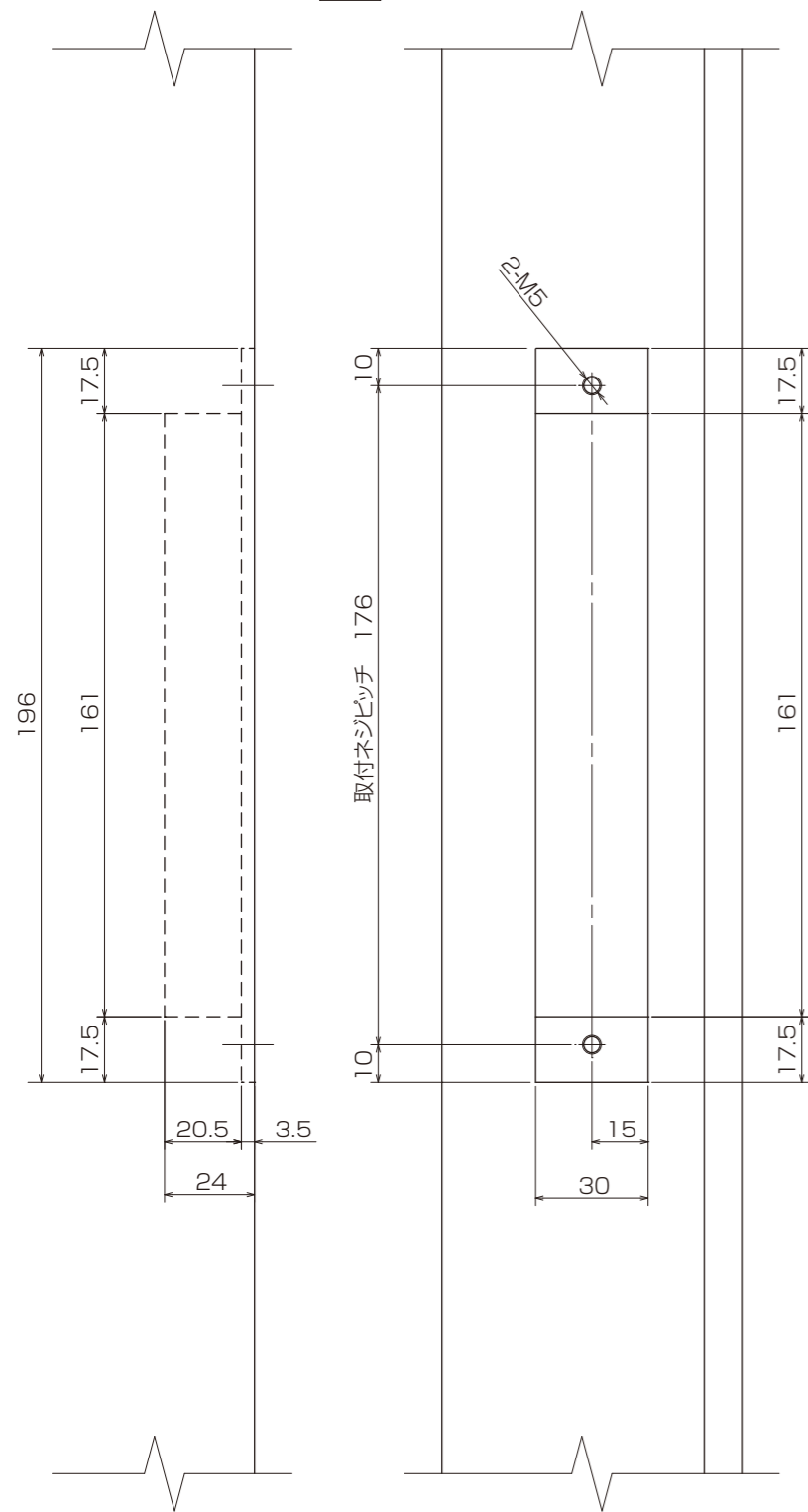
### 設定スイッチ(機能の変更が必要な場合のみ使用)

必要に応じてスイッチ押さえの下部㉕を軽くこじり、スイッチホルダー㉖を開けてスイッチ㉗を上下させ、必要な機能の設定をしてください。

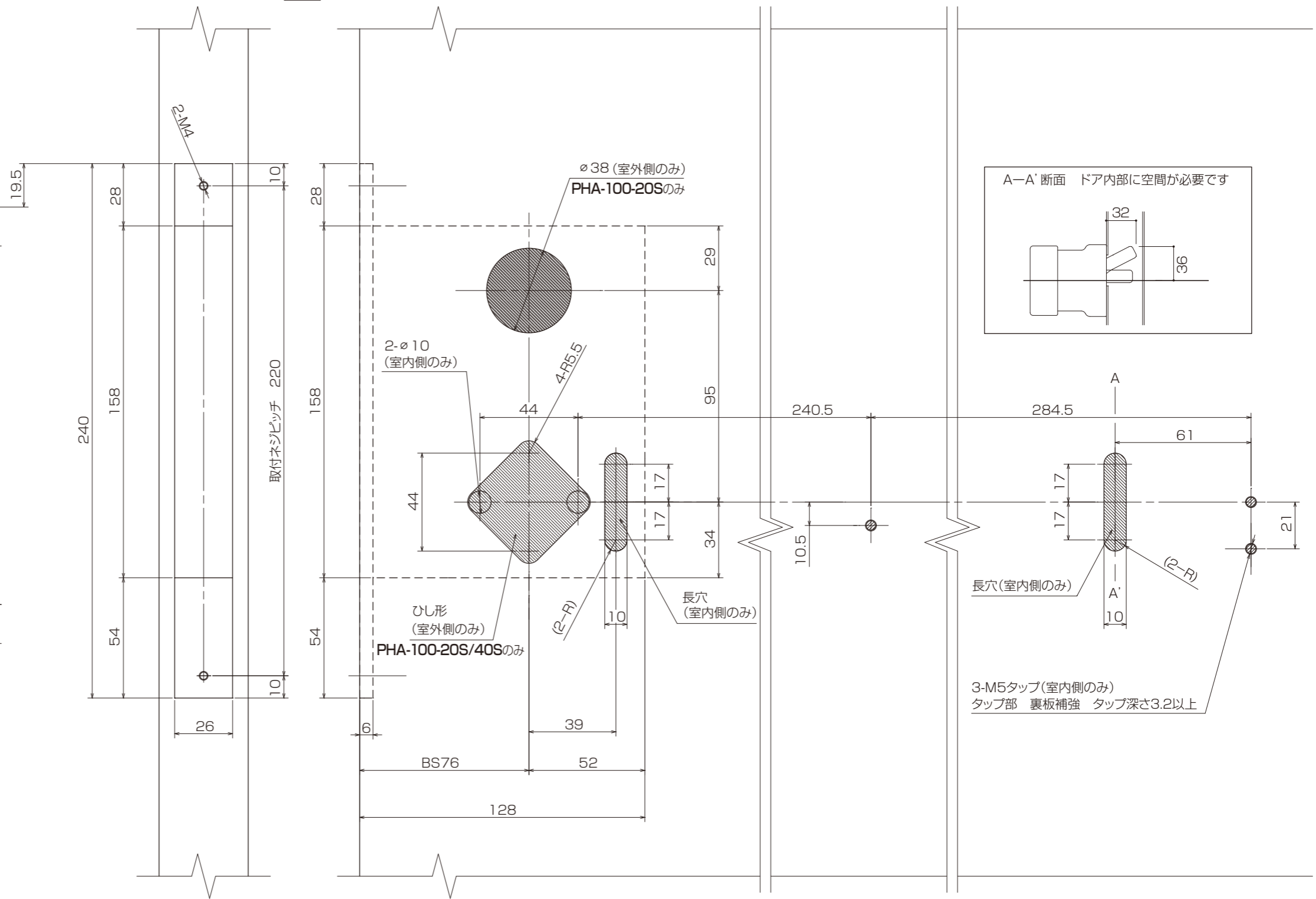


- 注意**
- 錠前は分解しないでください。また、投げたり、落としたりなどのショックを与えないでください。錠前が正常に動作しなくなる場合があります。
  - 取り付け作業時は、スベリ止め付手袋などをご使用ください。金具で手を切る恐れがあります。
  - 取付ネジは、本取付説明書に従って正確に締め付けてください。締め付け不良の場合、故障の原因となります。
  - 取り付けの際にインパクトドライバーは使用しないでください。
  - スチール扉およびアルミ扉の場合、パニックハンドルの本体取り付け部には取付ネジ締め付けによる扉面のたわみ防止のため、補強材を入れてください。補強材がないと扉面がたわみ、錠が正常に作動しない恐れがあります。
  - パニックハンドル取付用のM5タップ部は、裏板へ補強を行ないタップ深さ3.2mm以上確保してください。
  - 本製品は強力な磁石を使用していますので、取り付け作業時の取り扱いに注意してください。ケースおよびトロヨケの正面部にペースメーカーや磁気カードなどを近づけると誤作動やデータが損傷のおそれがあります。
  - 扉には必ず自閉装置(ドアクローザ等)をご使用ください。

枠



扉



※本図は原寸ではありません。ご注意ください。

<<工事店様へお願い>>  
取付・調整の後、本書をお客様へお渡しください。

## 安全に関するご注意

### 製品の近くにペースメーカーや磁気カード等を近づけないでください

本品は強力な磁石を使用しているためペースメーカーの誤作動や磁気カード等にデータ損傷が発生するおそれがあります。

### 取り外し、分解、改造はしないでください

故障の原因になります。修理、取り外し、移設は工事店様におまかせください。

### 装置の中に、針やヘアピン等の金属を差し込まないでください

故障の原因になります。

### 水等の液体をかけたり、水に濡れた手で触らないでください

故障の原因になります。

### 強い衝撃を与えないでください

破損して動作しなくなります。

取扱説明書に従わなかったために生じた故障、事故等については責任を負いかねます。

## 操作説明

品番	施錠時	解錠時
PHA-100-20S PHA-100-30S (閉扉自動施錠型)	・ 室外ハンドル固定 ・ 室内側パニックハンドルはフリーで解錠	・ 室外側ハンドル、 室内側パニックハンドルともフリーで解錠
PHA-100-40S (常時解錠型)	・ 室外側ハンドル、 室内側パニックハンドルともフリーで解錠	



### ご注意

- 鍵で解錠した場合、ハンドル操作やパニックハンドル操作をするまで解錠状態のままです。  
※ 鍵では施錠しません。
- 両開き扉の場合は、受け座側扉を自動フラッシュボルトなどで固定した状態で施錠してください。  
固定せずに施錠し、無理に扉を押し開くと錠が破損します。
- 緊急避難時など、扉に側圧がかかった状態でも操作ができるように、EN規格で定められた解除力(無負荷時に80N以下、側圧1,000N負荷時に220N以下で解除可能)を満たしています。  
※ 扉を開く力は扉重量やドアクローザの閉扉力、扉を押し位置により異なります。
- ケース、フロント、ストライク、ハンドル、パニックハンドルの取付ネジにゆるみが生じたら、ネジを締め直してください。
- ケースが扉の厚さ方向に対して中心についていない場合は、振れ止めネジを締めるとケースが振れてしまい、作動を妨げる原因となるため、振れ止めネジを締めないでください。

錠の動作や操作が取扱説明書のとおりに行われない場合は、以下の確認を行なってください。

錠前取り付け時のチェック項目	結果	備考
<b>1</b> 設計仕様は錠種と合致しているか。 (a)錠種、品番は設計のとおりか。		
<b>2</b> 扉の状態は正常か。デッドボルトが正しく突出しているか。 (a)扉のねじれ・ゆがみ等で、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 (b)扉の反発により、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 (c)錠前側の縦チリは6mm以内か。		
<b>3</b> ケースの取り付け状態は良好か。デッドボルトがスムーズに出入りするか。 (a)フロントが扉面に正しく納まっているか。		
<b>4</b> シリンダーの取り付け状態は良好か。 (a)MIWAマークが上になっているか。 (b)ガタツキがないか。		
<b>5</b> パニックハンドルの取り付け状態は良好か。 (a)ガタツキ・ゆるみはないか。 (b)動きはスムーズか。		
<b>6</b> プッシュオープンバーの取り付け状態は良好か。 (a)ガタツキ・ゆるみはないか。 (b)動きはスムーズか。		
<b>7</b> ストライクの取り付け状態は良好か。 (a)取付方向は正しいか。 (b)マグネットの位置は正しいか。 (c)デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下、前後。		
<b>8</b> 扉を閉じた状態での錠前の動作チェック (a)錠種の確認表のとおり状態(取り付け時の状態)になっているか。 (b)シリンダー、ハンドル、パニックハンドル、デッドボルトの動きがスムーズか。		